

令和6年度第2回大口町子ども・子育て会議 議事録

日時：令和6年8月27日（火）13時30分～15時00分

場所：大口町健康文化センター1階 機能回復訓練室

次第	1. あいさつ 2. 協議事項 （1）大口町の子ども・若者と家族をめぐる状況について （2）大口町子ども・子育て支援事業計画における見込み量について （3）大口町こども総合プラン（第3期子ども・子育て支援事業計画を含む）の骨子案について 3. その他 ・今後のスケジュールについて ・その他
欠席委員	（欠席2名）
資料	・ 次第 ・〔資料1〕 大口町の子ども・若者と家族を取り巻く現況 ・〔資料2〕 子ども・子育て支援事業計画における量の見込み ・〔資料3〕 大口町こども総合プラン（第3期子ども・子育て支援事業計画含む）の骨子案 ・〔資料4〕 次期大口町子ども総合計画（第3期子ども・子育て支援事業計画含む）策定にあたって ・〔資料5〕 基本理念を考えていく上での参考資料 ・〔資料6〕 今後のスケジュール

議事録	
開会	
事務局	・令和6年度第2回大口町子ども・子育て会議を開催させていただきます。 ・(事務連絡)
1. あいさつ	
会長	・こども計画を策定していくにあたり、どんな内容を含めていくのかを検討していきます。新たなこども総合プランをつくっていくとのことなので、いろいろな内容が組み込まれていくかと思います。 ・また、本日の会議では、ニーズ量といった基礎となる資料の説明もあるので、質問があれば遠慮なく発言いただけたらと思います。後半にはワークも予定されているので、活発な意見交換をお願いします。
協議事項（1）について →事務局より、〔資料1〕に基づき大口町の子ども・若者と家族を取り巻く現況 を説明	
会長	・大口町の特徴として、県や全国と比べて男性の就業率が高いことや、女性の就業率が高いことなどが挙げられます。そういった町の特徴につながっている理由や背景はありますか。
事務局	・理由として、企業が多く自宅の近くで働くことができることや、名古屋にも通勤ができるので、子育て中の家庭でもお子さんを保育園等に預けながら働くことができる環境、そういった保育のニーズ量とのバランスがとれていることが、就業率につながっていると考えています。 ・また、20代の男性は企業の独身寮があるため、就業率が高くなっていると考えます。
会長	・そういった背景で、20代後半の転入数、転出数も多くなっているのですね。
協議事項（2）について →事務局より、〔資料2〕に基づき子ども・子育て支援事業計画における量の見込み を説明	
委員	・資料2のP15の「(8) 子育て短期支援事業（ショートステイ・トワイライトステイ）」について、実績が「0」の状態が続いています。実施していない事業を載せている理由を知りたいです。
事務局	・計画に含めることを求められている項目であり、大口町においても利用のニーズが出てきた場合に対応できる体制は整備されているため、実績は「0」ですが載せています。
副会長	・女性の就業率が増えており、保育園や放課後児童クラブの利用率も上がっています。そうした状況下において、資料2のP10「(5) 病児・病後児保育事業」の量の見込みの数値が令和元年度の数値で設定しているので、見込みとして足りるのかが気になりました。
事務局	・こどもの数が増えて続ければ利用者数も増えていくと思いますが、割合で考えていくとこのまま推移していくと推測しています。

	・インフルエンザ等の流行時に、全員が利用できるわけではありませんが、利用者数の少なさをみると、会社の理解があり休むことができる環境が大口町にはあるのだと捉えています。 ・定員2名で実施しているため、そのキャパシティを超える度に人員や設備を確保することも難しいという事情もあります。
会長	・ほかにご質問やご意見はありますか。
事務局	・補足です。保育事業や放課後児童クラブ等の重点を置く事業をどうしていくか、委員のみなさんの現場感覚をうかがえたらと思います。 ・また、計画を策定していく際には、今回提示した見込み量だけではなく、確保策も考慮しながら確保目標量を決めていくので、こちらについてもみなさんの現場感覚を今後の会議でうかがえたらと思います。
会長	・資料2のP1には「これまでのサービスの利用実績」や「子ども・子育て意向調査」による利用希望の結果を踏まえて量の見込みを推計すると記載があります。放課後児童クラブの見込み量以外に、「子ども・子育て意向調査」を参考にした部分はありますか。
事務局	・国からも量の見込みを算出するためのワークシートが提示されています。このワークシートは、ニーズ調査のアンケート結果に基づいて入力をしていくものになります。しかし、第一期において、事業を「使いたい」というニーズと、実際に「使う」という実績では大きな乖離がありました。そのため今回は、これまでの利用率を重視した数値を出しています。ニーズ調査の結果は参考値として見ている状況です。
会長	・保育量のニーズは高まっており、調査結果では「意向」の回答がかなり高く出ていたと思います。利用実績だけで示されるニーズ量では足りず、もっと利用したい人がいるのではないかと思います質問しました。 ・今後、確保量との検討をしていくというお話もあったので、気付いたことがあれば質問していきたいと思います。
協議事項（3）について →事務局より、〔資料3〕大口町こども総合プラン（第3期子ども・子育て支援事業計画含む）の骨子案、〔資料4〕次期大口町子ども総合計画（第3期子ども・子育て支援事業計画含む）策定にあたって を説明	
会長	・第2期の計画から削除される項目はありますか。
事務局	・「基本目標5：安全で快適な子育て生活を支えるまちづくり」の「5-1 安全で快適な居住環境の整備」では、歩道の整備についての記載があります。道路改良という事業内で歩道を改修していく事業が大口町にはあまり残っていない状況です。 ・歩道の整備やバリアフリーは費用がかかりますが、子育て支援に直結するとは限らないので、削除してもよいかと考えています。

	・住宅確保について、施策として載せられるかは分かりませんが、新たに家族をもつ世帯向けの事業にはなるので、残していてもよいかと思います。
副会長	・10年前と子育ての社会的状況が変わってきているのを実感しています。10年以上前は、家庭でどうやってこれから子育てしていくかを悩みながら生活しているという母親の声を聞いていました。しかし、今は50%以上が就業しています。社会的状況が変わっているなかで、これから先の子育てにおいてどのようなものがつくられているのか、大口町で何ができていくのかを考えられるといいなと感じました。
委員	・こどもの声をどのように拾い上げるのか、こどもが意見を発表できる機会や活動があるとよいと思いました。
協議事項（3）について →事務局より、〔資料5〕に基づき基本理念を考えていく上での参考資料を説明し、基本理念に含めたい想いやキーワードについてミニワークを実施 ※ミニワークの結果については別紙参照	
事務局	・ミニワークで出していただいたキーワードを生かしながら、基本理念を3案ほど事務局から提示する予定です。委員のみなさんには、次回の会議で検討いただけたらと思います。
3. その他 →事務局より、〔資料6〕に基づき今後のスケジュールを説明	
事務局	・第3回の日程は、決まりましたら連絡させていただきます。 ・令和6年度第2回大口町子ども・子育て会議を閉会いたします。

令和6年度第2回大口町子ども・子育て会議 ミニワークのまとめ

令和6年度第2回大口町子ども・子育て会議にて、次期計画の基本理念に含めたい思いやキーワードを委員のみなさんに出していただきました。

分類	思い・キーワード
こどもまんなか	こどもがどまんなかにいるまち
	こどもをまんなかにおいた大口町（まち）づくり
こども主体	こどもの主体性を大切にする
子育てしてみたいまち 地域の子育て力	このまちで子育てしたい
	そんな豊かさに満ちたまちを目指す
	子育て・子育ては多くの人の手で支える
	「親はなくても子は育つ」 皆で豊かな社会をつくる
	子育てをしたくなるまち
愛情	「地域も育つ」ではなく、「地域で育つ」 大口の子は大口で育てる
	愛情を充足したこどもの育成
安心感	こどもの幸せは親が楽しく幸せでいること
	すべての子どもが安心感を感じられるまち
自尊心・自己肯定感	こども
	こども・若者が自分らしく過ごせるまち（地域）
	生きる力を育む（自分の事が好きになれることを大切にする）
	世代を超えて自分の良さを尊重される社会
	親
居場所	1人1人のママたちが自分らしく、いきいきと子育てできるといいな
	こどもが自分らしく過ごせる居場所
困ったに気づく	見えない、聞こえていない声に気づく地域
	さまざまな状況のこどもが生きやすい社会
遊び・学び	こどもが地域で遊んで学べる環境の復活
笑顔（こども）	子育て文化 大切にしたい！
	こどもが笑顔で育つまち
	笑顔
孤立な	地域で親が孤立しない社会の仕組み
ワクワク	育ち、育てられるワクワクするまち
親子一緒	小さなこどもが親といっしょにいられる環境
結婚	最良のパートナーと出会える機会も子育て支援
家族	あらゆる世代がこのまちで家族とともに生きていきたい